

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	桶川地域文化振興共同事業体
評価対象年度	令和3年度
施設所管課	文化資源課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされ、安全性が確保されていた。
	法令等の遵守	B	個人のアドレスが他者へ表示される形でメール送信してしまったケースが1件発生。強制的にメールアドレスがBCC化される仕組みを導入し、同様の事故が起きないように改善されている。その他法令等の遵守については、適切であった。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け来館者数が伸び悩む中、オリンピック時には、NIPPONフェスティバル共催プログラムとして採択される企画展を実施する等、感染症対策を講じつつ、魅力ある事業を展開していた。
	利用状況	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用人数は管理目標をやや下回ったが、開館中は感染症対策を徹底し、可能な限り計画に沿った館運営が行われていた。
	適切な管理の履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めている。
	財産の適切な管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービスの 向上	サービス内容の向上	A	新型コロナウイルス感染拡大予防として、接触機会を低減のため、観覧券の券売機を導入、講座室や研修室へのサーキュレーター貸出等を実施した。また全ての男子トイレの個室にサンタリーボックスを設置する等も行い、サービス向上を図った。
	利用者の満足度	A	施設に対する満足度が、職員対応、施設双方とも目標に達した。 (目標)職員対応90%以上 → (実績)100% (目標)施設自体90%以上 → (実績)100%
総合評価		A	適切な管理・運営がなされており、概ね良好である。

特記事項	特に評価すべき点	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残る中、感染症対策を講じつつ、魅力的な企画展、各種事業を行い、結果として利用者アンケートで非常に高評価を得ている点は高く評価したい。
	次年度に向けて改善が望まれる点	個人情報管理に関する事故が発生したことは遺憾で、今後同様の事故が起きない仕組みを速やかに導入したことは評価できるが、研修等を通じ職員の意識啓発を図ることで、事故発生を未然に防ぐ強固な体制を構築してもらいたい。